

# 令和6年度 府中市立日新小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 第1学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月に比べ、平仮名の読み書きや音読ができるようになってきているが、個人差が大きいこと。</li> <li>・すすんで発言する児童と考えをもっているが発言ができない児童の個人差があること。</li> <li>・語彙力が不足しているため、適切な表現ができないこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉読みや追い読みなど、さまざまな読み方で音読練習をしながら、語のまとまりで読めるように指導していく。【発見・表現】</li> <li>・身近な話題について話す活動を取り入れながら自分の考えを伝えられるように支援する。【対話・表現】</li> <li>・かるたやしりとり、分類ごとの言葉集めや反対言葉のぬりえなど興味をもって取り組めるようにする。【発見】</li> </ul>		
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を読むこと、理解することが難しい児童がいること。</li> <li>・正しい式や答えを求めることはできるが、理由を説明することが全体的にまだ難しいこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本を身に付けるため、具体物や半具体物进行操作し、楽しみながら繰り返し学習に取り組む工夫をしていく。【発見】</li> <li>・自分で考える時間を十分に確保し、文章や図で書いたり、友達に説明したりする活動場面を増やしていく。【表現・対話】</li> </ul>		
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知りたいという思いを持ち、主体的に楽しく取り組んでいるが、継続的に取り組み、自分から気付くこと。</li> <li>・学習中、ねらいから外れて、他のことに興味に移ることがあること。</li> <li>・絵や言葉、文章で表現したりすることについて、個人差が大きいこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できる限り実物に触れたり接したりさせる。状況的に難しい場合は、それを補うためICTを活用したり、資料を用意したりする。【発見】</li> <li>・学習のねらいについて、振り返りを行わせる。【決定・表現】</li> <li>・個々に応じて、ワークシートの量を減らしたり、まとめ方のパターンを提示したりする等の手立てをとる。【表現】</li> </ul>		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に授業に参加して、歌や楽器に意欲的に取り組む児童が多いが、音楽の知識や技能で、経験や発達段階による差が見られること。</li> <li>・音楽の授業で自分のやりたいことを抑えられず、学習の迷惑になる音を出してしまう児童がいること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏する楽しさや達成感を味わえるように、旋律を階名で暗唱する等して、楽器の演奏の仕方を身に付けられるようにする。【発見】</li> <li>・何度も繰り返し確認をしていくことで、音楽経験による差が埋まるように指導を進める。【対話・表現】</li> </ul>		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの児童が活動に意欲的に取り組み、自分のイメージをもって作品作りに取り組んでいるが、いろいろな表し方を考えることに課題がある児童がいること。</li> <li>・制作を短時間で終わらせてしまい、より工夫して取り組むことの苦手な児童がいること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品を見合う場面を取り入れることで、友達の高さや作品の工夫に気付き、どのように工夫すればよりよくなるか、児童が自ら解決できるようにする。【発見・対話・表現】</li> <li>・更に良い作品になるように、粘り強く学習に取り組めるように指導する。【対話・表現】</li> </ul>		
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体として体を動かすことは好きで、友達と関わりながら楽しんで学習活動に取り組んでいるが、苦手意識から体を動かすことに消極的な児童がいること。</li> <li>・マット、鉄棒、固定遊具等の道具を使った運動遊びやボールの扱い等において、経験不足で体の使い方が掴めない児童が多く見られること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できたこと、努力したことを認めたり励ましたりしながら、運動遊びへの意欲を持続させる。【対話・表現】</li> <li>・運動遊びの運動量を確保し、多様な運動感覚を身に付けさせるとともに体力の向上を図る。【発見・対話・表現】</li> </ul>		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

# 令和6年度 府中市立日新小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 第2学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章を書くときに、助詞や長音、促音や拗音などを正確に使って書くこと。</li> <li>漢字を習得すること。</li> <li>簡単な構成を考えながら文章を書いたり、読んだりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文を書く前に、句読点やかぎかっこ、助詞など既習事項を振り返りながら授業をすすめる。促音や拗音については、個別指導を行う。【決定・表現】</li> <li>定期的に漢字練習とミニテスト、直しを行い、正しく覚えられるようにしていく。【発見・表現】</li> <li>モデル文などを使って文章構成を確認する。【対話・表現】</li> </ul>		
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な技能を習得すること。</li> <li>既習事項を活用して、自分の考えを表現すること。</li> <li>数量や図形に親しみ、算数で学んだことを日常生活や学習に活用しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>その単元の学習に関連する既習事項を掲示したり、授業の初めに復習したりする。【発見・表現】</li> <li>問題の中でポイントとなる部分を確認し、図や絵・具体物などを用いて、分かりやすいよう指導をする。【発見・決定】</li> <li>自分の考えを友達と伝え合う活動を取り入れる。【対話・表現】</li> </ul>		
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活上必要な習慣や技能を身に付けること。</li> <li>観察したり、体験したりしたことについて文章や絵などで表現すること。</li> <li>生活科で学んだことを日常生活や学習に活用しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>できる限り実物に触れたり接したりさせる。それが難しい場合は、写真資料などを活用する。【発見】</li> <li>個々に応じて、写真を用いて負担を軽くしたり、まとめ方のパターンを提示したりする等の手立てをとる。【対話・表現】</li> <li>振り返りの活動の中で、日常生活との関連や今後の生活への活用についての視点をもたせる。【決定・表現】</li> </ul>		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい指使いで、鍵盤ハーモニカを演奏すること。</li> <li>曲調に合う声の出し方で歌うこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ずつ丁寧にチェックする時間を確保し、基本の指使いを繰り返し指導する。【表現】</li> <li>歌詞やメロディーから曲の感じを想像し伝え合う活動を取り入れる。【対話・表現】</li> </ul>		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>想像を膨らませて作品を作ること。</li> <li>絵の具やクレパス、はさみなどの道具の使い方を身に付けること。</li> <li>自分や友達の作品のよさに気付くこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作成する前に友達と作品のイメージを伝え合う活動を取り入れる。【対話・表現】</li> <li>道具の使い方を、実演しながら丁寧に説明する。【発見・決定】</li> <li>友達の作品を鑑賞し感想を伝え合う時間を設定する。【対話・表現】</li> </ul>		
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動に親しむこと。</li> <li>基本的な動きを身に付けること。</li> <li>運動遊びの行い方を工夫したり、考えを他者に伝えたりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の児童が具体的なめあてをもてるように支援する。【発見・決定】</li> <li>児童の動きを見てその場で個別指導し、児童に伝えていく。【決定・表現】</li> <li>ペアやグループで見合い、教え合う活動を積極的に取り入れていく。【対話・表現】</li> </ul>		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

# 令和6年度 府中市立日新小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 第3学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字を習熟すること。</li> <li>語彙を増やすこと。</li> <li>新しい言葉の使い方を習得すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定着を図るため、小テストを行う。1学期間の小テスト日を提示し、見直しをもって自主的計画的に練習に取り組めるようにする。【発見・決定】</li> <li>国語辞典を使うことに慣れさせる。授業内でその都度言葉の意味を確認していく。【発見】</li> <li>読み聞かせや図書の日を通じ、読書を推進し、いろいろな言葉の使い方に親しませる。日記の宿題で獲得した言葉を生かす。【表現】</li> </ul>		
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>計算能力の個人差が大きいこと。</li> <li>数の概念や式の意味、問題の意味などを理解すること。</li> <li>学んだことを生かして、問題解決をしたり問題を見い出したりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>十マス計算などの計算プリントを授業毎の帯活動として行い基礎力を付ける。【表現】</li> <li>問題の中でポイントとなる部分を確認し、図や絵・具体物などを用いて、分かりやすいよう指導をする。【発見】</li> <li>学んだことを生かしたポイントを絞った振り返りを行うことで次時の学習活動につなげられるようにする。【表現】</li> </ul>		
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察対象の比較をしたときに気付いたことをノートに書くこと。</li> <li>活動の様子から差異点や共通点を見付け、問題を見い出すこと。</li> <li>クラスの実験結果を比較し、結果から分かることをまとめ、文章に表現すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>『ものすごい図鑑』などのサイトを活用しながら比較し、体の大きさや色の違いなど細かい違いを見つけられるようにする。【発見】</li> <li>活動から気付いたことを共有し、友達が考えていることを把握しやすくする。【発見・表現】</li> <li>考察の書き方を支援し、徐々に自分で書けるようにする。【表現】</li> </ul>		
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図や写真などの資料から必要な情報を読み取り、まとめること。</li> <li>見学や体験の時の視点を自分で見付けること。</li> <li>情報を関連付けたり、比較したりすることで新たな気付きを見出すこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料ごとの見方を教えたり情報を的確に捉えられた児童の考えを取り上げたりしていく。【発見・表現】</li> <li>どこに着目するかを教え、自分で視点を見付けられよう支援する。【発見】</li> <li>気付きを児童同士で共有させたり、情報の捉え方を教えたりする。【対話・発見】</li> </ul>		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲についてどのように歌いたいのか、どのように表現したいか考えること。</li> <li>鑑賞して気付いたこと、感じたことを自分の言葉で表現すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽譜や歌詞、参考音源から曲想を感じ取り、曲想に合った表現方法を考える力を身に付けさせる。【表現】</li> <li>「気付いたこと・感じたことの例」を示し、自分の言葉で説明できるようにする。【発見・表現】</li> </ul>		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>手先の器用さに差があり、用具や材料の特徴を生かして工夫することに課題がある児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習の用具・材料を使用する際にも、教師が示範したり使い方や手順を掲示したりするなど、再度確認してから活動に入らせる。【表現・発見】</li> </ul>		
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄棒・マット運動をはじめ、体の動かし方を身に付けること。</li> <li>自己の能力に適した課題を設定すること。</li> <li>運動にすすんで取り組み、友達と仲よく運動したりお互いの考えを認めたりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな体勢を意識的に取らせたり、動きを補助したりする配慮をする。【表現】</li> <li>学習カードで達成の有無を視覚化して自己の能力を知り、自分の課題を明確にさせる。【発見・決定】</li> <li>友達と協力してより良く運動できるようにペア・グループ学習の手立てを取る。【対話・表現】</li> </ul>		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

# 令和6年度 府中市立日新小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 第4学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>読解力が低い児童が多く、文章をよく読まずに諦めてしまうこと。</li> <li>漢字の定着について個人差が大きいこと。</li> <li>文章の構成に苦手意識があること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キーワードとなる言葉に着目させる。【発見】</li> <li>意味を理解して漢字を選択する場面を設定する。【決定】</li> <li>教科書の文から構成を理解し、模倣することで力を付けていく。【発見】</li> </ul>		
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章問題の中の大事なところを捉え、正しく立式すること。</li> <li>自分の考えを図や言葉を使って表すこと。</li> <li>下学年の学習内容に積み残しのある児童が、一定程度いること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が興味関心をもって問題に取り組めるように導入・振り返り活動を充実させる。【発見・対話】</li> <li>問題の中でポイントとなる部分を確認し、図や絵・具体物などを用いて、分かりやすいよう指導をする。【発見】</li> <li>既習事項の復習をする時間を数分確保し、それぞれの力に合わせて復習する。【決定】</li> </ul>		
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい用語の理解や定着に課題があること。</li> <li>観察や実験の結果から共通点や差異点を見つけること。</li> <li>知識を活用して日常生活に生かすこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートを図を使ってまとめるなど視覚的にわかりやすくする。【発見】</li> <li>気付いたことを共有し、互いの考えを知る。【発表・対話】</li> <li>既習事項と関係のある事象を結び付けて考えさせる場面を設定する。【発見・決定】</li> </ul>		
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料を読み取る力についてきたが、そこから自分の考えを展開すること。</li> <li>見学や体験の時の視点を自分で見つけること。</li> <li>都道府県名や位置の知識の定着に課題があること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気付いたことを共有し、互いの考えを知る。【発表・対話】</li> <li>事前にどこに着目するとよいか考える時間をとる。【決定】</li> <li>地図を見る習慣を身に付ける、クイズやフラッシュカードなどゲーム要素を入れて楽しく定着を図る。【発表・決定】</li> </ul>		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞して気付いたこと、感じたことを自分の言葉で表現すること。</li> <li>運指やタンギングなどの基本的な奏法が身につけること。リコーダーの演奏に対して消極的になっている児童が多いこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「気付いたこと・感じたことの例」を示し、自分の言葉で説明できるようにする。【発見・表現】</li> <li>グループ演奏やクラス内発表の機会を増やし、教えあい、協力して演奏することで基本的な奏法を身に付けさせる。【対話・発見】</li> </ul>		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で表したいことを見つけて活動できる児童が多いが、題材によっては発想が広がらずに課題に取り組めない児童もいること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料を試しながら表したいことを見付ける場をつくったり、友達と相談する時間を設けたりすることで、児童が発想するきっかけをつくる。【対話・発見】</li> </ul>		
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>すすんで体を動かそうとする児童と運動を避ける児童の二極化が見られること。</li> <li>よい動きを言語化すること。</li> <li>自分に合うめあてや練習を考えること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の活動を通して体や心の変化を意識させ、運動のよさを感じさせる。【発見】</li> <li>グループやペアで話し合う時間を設定する。【発見・対話・発表】</li> <li>動画を使って自分の動きを見る。【発見・決定】</li> </ul>		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

# 令和6年度 府中市立日新小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 第5学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の習熟が十分でない児童が多いこと。</li> <li>自分の考えを書いたり話したりすることに課題がある児童がいること。</li> <li>語彙力が乏しい児童が多いこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定着しづらい児童については、練習の仕方を工夫できるように具体的に支援・援助する。</li> <li>書いたり話したりする視点を明確にし、様子を表す言葉を増やすような指導を行う。【対話・表現】</li> <li>言葉の意味を調べる時間を短い時間でも確保する。</li> </ul>		
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを式、図、表などの様々な方法で内容を理解する力に課題があること。</li> <li>自分の考えを友達に説明するのが苦手な児童が多いこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供が興味関心をもって問題に取り組めるように導入・振り返り活動を充実させる。【発見・対話】</li> <li>式、図、表などを関係付けて理解する機会をつくり、問題について深く理解できるようにする。【対話】</li> <li>友達と交流する機会や、友達の考えを聞く機会を増やし、自分の考えを広げる活動をする。【対話・表現】</li> </ul>		
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活経験や既習事項と結び付けて予想や考察を考えることに個人差があること。</li> <li>観察・実験結果を基にした根拠のある考察することに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自力解決の後でペア学習がグループ学習を取り入れ、多面的に考えることで思考を深める。【対話】</li> <li>自分の立てた実験計画からどのような結果が得られるのか考え、児童同士で検討できる時間をとる。【表現】</li> </ul>		
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べたいことを知るためにどの資料が適切であるか選択したり、資料から何が分かるのかを読み取ったりすることに課題があること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料を読み取る活動において、友達と意見を交流し、見方・考え方を広げる。【対話】</li> <li>資料から分かることを文章で表現するときに、言葉の意味を指導し、事象を適切に表せるように指導する。【表現】</li> </ul>		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲想に合った発声方法が身に着いていないため、歌唱表現の幅に課題があること。</li> <li>リコーダーの運びやタンギングなどの基本的な奏法が身につけていないなど、習熟度に個人差があること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発声練習や歌のポイント指導を通して、音楽的表現を身に着けさせる。【表現】</li> <li>グループ演奏やクラス内発表の機会を増やし、教え合い、協力して演奏することで基本的な奏法を身に付けさせる。【対話・発見】</li> </ul>		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の思いを工夫して表現することに課題がある児童がいること。</li> <li>配慮を要する児童が多く、発想・技能の個人差があるため、個別の支援が欠かせないこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品を見合う時間をつくり、他の児童の工夫している点など全体に紹介し、共有していく。【表現・対話・発見】</li> <li>ねらいや作業工程がわかるように視覚的な参考文献等を用意し、個別に支援していく。【表現・対話】</li> </ul>		
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>話の内容を正しく聞き取ることに課題をもつ児童が多く、友達と一緒に活動できないことがあること。</li> <li>主体的に問題に向かう意欲や姿勢が十分でない部分があり、知識や技能の習得が不十分であること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供が興味関心をもって取り組めるように課題設定や導入を工夫する。【発見】</li> <li>ペア、グループでの話し合い活動や教え合い活動の機会を取り入れ、課題に向かう気持ちが持てるようにする。【対話・表現】</li> </ul>		
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>めあてをもって、自分の学習をより良いものにしていこうとすることについて、個人差が大きいこと。</li> <li>仲間への声掛けやアドバイスができる児童とできない児童の差が大きいこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>めあてを確認させて学習を進めていくようにし、意識の向上を図る。【発見】</li> <li>教師が率先して声掛けを行い、児童の好ましい行動を積極的に称賛していくようにする。【表現】</li> </ul>		
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションを図ろうとする意欲や態度に個人差がある。</li> <li>アルファベットを覚えていないことで、書くことに消極的な児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童がかかりやすいような活動を意識して取り入れていくようにする。【発見】</li> <li>書く時間をしっかり確保し、児童が少しずつ自信をつけていけるようにする。【表現】</li> </ul>		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

# 令和6年度 府中市立日新小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 第6学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを書いたり話したりすることを苦手とする児童が多いこと。</li> <li>作文するときに構成を工夫して文章を書くことが苦手な児童が多いこと。</li> <li>漢字の習熟が十分でない児童が多いこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常の中で書く活動を多く取り入れる。【表現】</li> <li>児童同士で書いたものを読み合い、推敲し合う機会を設ける。【対話】</li> <li>習った漢字は積極的に使うようにし、意味を理解して使うように指導する。【決定】</li> </ul>		
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識・技能の定着に課題があること。</li> <li>自分の考えを、図や式を用いて表すことが苦手な児童が多いこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習を生かし、新しい知識・技能と関連付けて獲得できるように、複数の考え方を検討する。【対話】</li> <li>検討の目的を意識させ、技能の定着や考え方の明確化に向けて指導する。【発見】</li> <li>子供が興味関心をもって問題に取り組めるように導入・振り返り活動を充実させる。【発見・対話】</li> </ul>		
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>根拠のある予想を立てることが苦手な児童がいること。</li> <li>観察・実験結果を基にした根拠のある考察をすることに課題があること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習の単元や生活体験と関連付けて予想をさせる。【発見】</li> <li>自分の立てた実験計画からどのような結果が得られたのか考え、児童同士で検討できる時間をとる。【対話】</li> </ul>		
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門用語の知識・理解が不十分な児童がいること。</li> <li>課題解決に必要な資料を選ぶことに課題がある児童がいること。</li> <li>資料から分かることや想像できることを考え、表現することが難しいこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新出の専門用語は、定義や意味を丁寧に確認する。【発見・決定】</li> <li>映像資料等を活用してイメージをもたせる。【発見】</li> <li>どの資料からどのようなことが読み取れるのか、児童同士で確認できる時間を設ける。【対話】</li> <li>キーワードを使って自分の考えをまとめる指導をする。【表現】</li> </ul>		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱や器楽演奏で表現することへのためらいがあることや消極的な姿勢になること。</li> <li>友達と合わせて演奏したり、周りの音を聞きながら演奏したりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と意見共有をする時間を多く取り入れ、様々な表現方法に触れる。【表現】</li> <li>合奏のポイントやその中で聴くべき音を指導し、合わせて演奏する機会を増やす。リコーダーや打楽器の基本的な奏法を身に付けさせる。【対話・発見】</li> </ul>		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲的に取り組む児童が多いが、用具や材料の特徴を生かして工夫することに課題がある児童がいること。</li> <li>制作を短時間で終わらせてしまい、より工夫して取り組むことが苦手な児童がいること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習の用具・材料を使用する際にも、教師が示範したり使い方や手順を掲示したりするなど、再度確認してから活動に入る。【表現・発見】</li> <li>工夫している作品を称賛し、どのように工夫すればよいか児童が自ら思いつけるようにする。【対話・発見】</li> </ul>		
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題や活動に意欲的に取り組む児童が多く、日常生活を見つめ問題を見出そうとしているが、よく考え表現する力が十分でない部分もあること。</li> <li>家庭での経験に違いがあり、知識や技能、問題に向かう意欲に個人差があること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見つけた問題から、自分の生活の課題を設定し解決していけるような授業を計画する。【発見】</li> <li>ペアやグループでの話し合い活動を取り入れ、自分の考えをまとめ、伝えようとする機会を増やす。【対話・表現】</li> </ul>		
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の課題を見付けることや、解決するための方法及び活動を工夫することに課題がある児童がいること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達同士で互いに活動を見合い、課題を見付けたり、解決したりする時間を設定する。【発見・対話】</li> </ul>		
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>大文字と小文字の使い分けを苦手とする児童が多いこと。単語同士のスペースやピリオド忘れなどもあること。</li> <li>コミュニケーションを図るときに上手く伝えられず、日本語で行おうとする児童がいること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルファベットの書き方を定着させるために、書く機会を増やし、例文を見ながら英作文ができるようにしていく。【表現】</li> <li>ピクチャーディクショナリーやグーグル翻訳を活用しながらコミュニケーションを取れるように指導する。【発見・表現】</li> </ul>		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。